

見立多以盡

あつた

丸屋町五番地
馬工月岡米次郎
大樽馬町三百十五番地
出板人井上茂兵衛
定價五匁

出て三日人あり如何に猫の悪と故人もつひ
早咲の梅も盛のほく頃り。隅田の上流の
夜泊の足りと暗き朧月に。顔とそむき
忍びかへ。浮雲くわゆる糸瓜を。研や。遂
むや。挑ちまて争えん狂ふ急中哉。
嗅出さきもてい最ら假名讀の先生
実り情ちのいん

鴉く雀も人哉徳



おきき
大樽馬
徳

新聞の本文部分

75
70
65
60
55
50
45
40
35
30